

要請番号 (JL03018B01)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ミャンマー	H115 医療機器		個別	交替 3代目	2年	・ 2019/1 ・ 2019/2 ・ 2019/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健・スポーツ省

2) 配属機関名 (日本語)

新ヤンゴン総合病院

3) 任地 (ヤンゴン) JICA事務所の所在地 (ヤンゴン)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

1984年に日本の無償資金協力により設立された病院で、内科、外科、麻酔科、ICU、中毒センター、物療・リハビリ科などがあり、ティーチングホスピタルとして医学部、看護学部学生の受け入れもしている。ベッド数は200床で、医師約80名、看護師約170名を含め約400名の職員が勤務している。平均外来患者数は100名/日。年間予算は約30万ドル。2002年度に日本の無償資金協力にて手術室、集中治療室、及び新生児室に関連する機材供与が行われた。2015年に日本の無償資金協力により、医療機材が調達された。2013年度に同職種の短期、2015年には長期のシニア海外ボランティア(SV)が派遣された。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

病院にはMRIから血圧計まで様々な医療機器があるが、保守管理を担当する人材がおらず、機材の状況把握、不適切な使用、不十分なメンテナンスなど総合的な管理体制が課題となってきた。また、人材、予算の制約から、不具合が発生した場合でも適切な対応が困難な状況にあり、問題解決に向けてJICAボランティアの要請がなされ、これまで医療機器SV2名が派遣された。保健・スポーツ省も工学系大学卒業生をエンジニアとして採用し、全国の主要公立病院にそれぞれ1~2名を配置するなど、保守管理体制強化の取組を開始した。前任者は、若手エンジニアへの指導、日常の巡回点検、医療機器のデータベース作成等に取り組み、課題解決に大きく貢献した。しかし、これらの業務を若手エンジニアのみで遂行するには、まだ実力が十分とは言えず、これまでの取り組み成果の継続、定着のために引き続きボランティアのサポートが求められ、本要請が提出された。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

医療機器保守管理体制構築に向け、以下の活動を行う。

1.日常的な巡回を行いながら、若手エンジニアの知識・技術力向上のための指導を行う。

*巡回点検、機器データベースの更新等、彼らが自立して業務が遂行できるようになるようサポートする。

2.医療機器の適正な使用、定期保守等について院内スタッフへの啓発を行い、必要に応じて講習会の開催等をサポートする。

3.その他、配属先が必要とするサポートを行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

ICU(ベンチレーター、生体情報モニタ他)、手術室(高圧滅菌器、医療用吸引器)、病理学検査室(血液保存庫、血液分析計、遠心分離機他)、MRI、レントゲン室(CTスキャン、超音波診断装置)で利用する機材

4) 配属先同僚及び活動対象者

院長(50代、女性)

同僚:保守部門のエンジニア4名(土木2名、電力、電気):20代、女性
その他、医師約80名、看護師約170名

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
ミャンマー語	ミャンマー語	

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[性別]：（ ） 備考：

[参考情報]：

・医療機器保守管理の経験

[学歴]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）5年以上 備考：経験に基づいた指導・助言が必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯モンスーン気候） 気温：（17.5～37.0℃ [電気]：（不安定）

位）

[水道]：（不安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

【特記事項】

任国の査証手続きにより、他の国の同じ隊次より赴任時期が遅れる。